

JICS NGO支援を活用した組織基盤強化

2018年度 JICS NGO支援事業 活動報告会
2020年9月1日
特定非営利活動法人アジアクラフトリンク

組織概要

● 団体のミッション

- ◎ ミャンマー版**一村一品運動**の推進による地域産業育成
- ◎ 生産者と消費者をつなぐ**フェアトレード**の実践
- ◎ 持続可能な発展を目指す**ソーシャルビジネス**のモデルづくり

● 活動分野

木工産業育成／織物教育支援／
オーガニックコットン開発／蓮布開発／
竹産業育成／有機紅茶栽培支援／植林

● 組織のあゆみ

2005年 ミャンマーでNGO活動開始
2012年 新潟市所轄のNPO法人化
2013年 新潟市に直営ショップ開店
2015年 ミャンマー政府i-NGO登録
2016年 特例認定取得（3年間）

ミャンマー政府小規模産業局とMoU締結（2019年に延長）



事業実績

2010年 縫製教育・人材交流（～2013年）

＜新潟・国際協力ふれあい基金＞

2015年 縫製教育支援事業

＜世界の人びとのためのJICA基金＞

2017年 バゴー木工産業育成事業（～現3期目）

＜外務省日本NGO連携無償資金協力＞

織物教育支援事業

＜JICA草の根技術協力事業支援型＞

2019年 **組織基盤強化・広報事業**

＜日本国際協力システムNGO支援＞

竹製品ビジネス可能性調査

＜林野庁途上国持続可能な森林経営推進＞

2020年 植林事業

＜緑の募金事業＞



バゴー木工技術センター



サunders織物専門学校

活動背景：ミャンマーが抱える課題

- 輸出 < 輸入
→ 貿易赤字
→ 国内の中小産業の強化が必要
- 国際社会からの孤立
→ 情報統制、経済制裁
→ 国際的なトレンドやマーケット情報の不足
- 政府の予算、人材に限りあり
→ 人材育成拠点は質、量ともに不足
→ ハード優先、技術革新や商品開発は後
- 地域格差
→ 発展の不均衡
→ 一方で地方には未利用資源も



サウダース織物専門学校

アジアクラフトリンクの 生計向上支援の両輪

一村一品運動
ものづくり支援

フェアトレードで
世界へ紹介

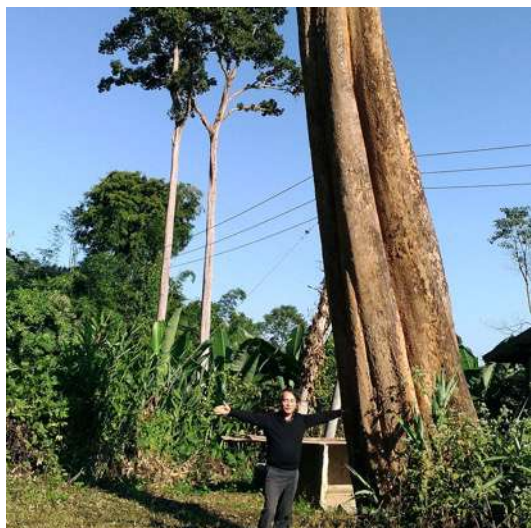
一村一品運動の推進



素材・人材



技術・経験



商品力



+



=





アジアクラフトリンクの 生計向上支援の両輪

一村一品運動
ものづくり支援

フェアトレードで
世界へ紹介

フェアトレード事業（収益事業）



東京国際ギフトショー



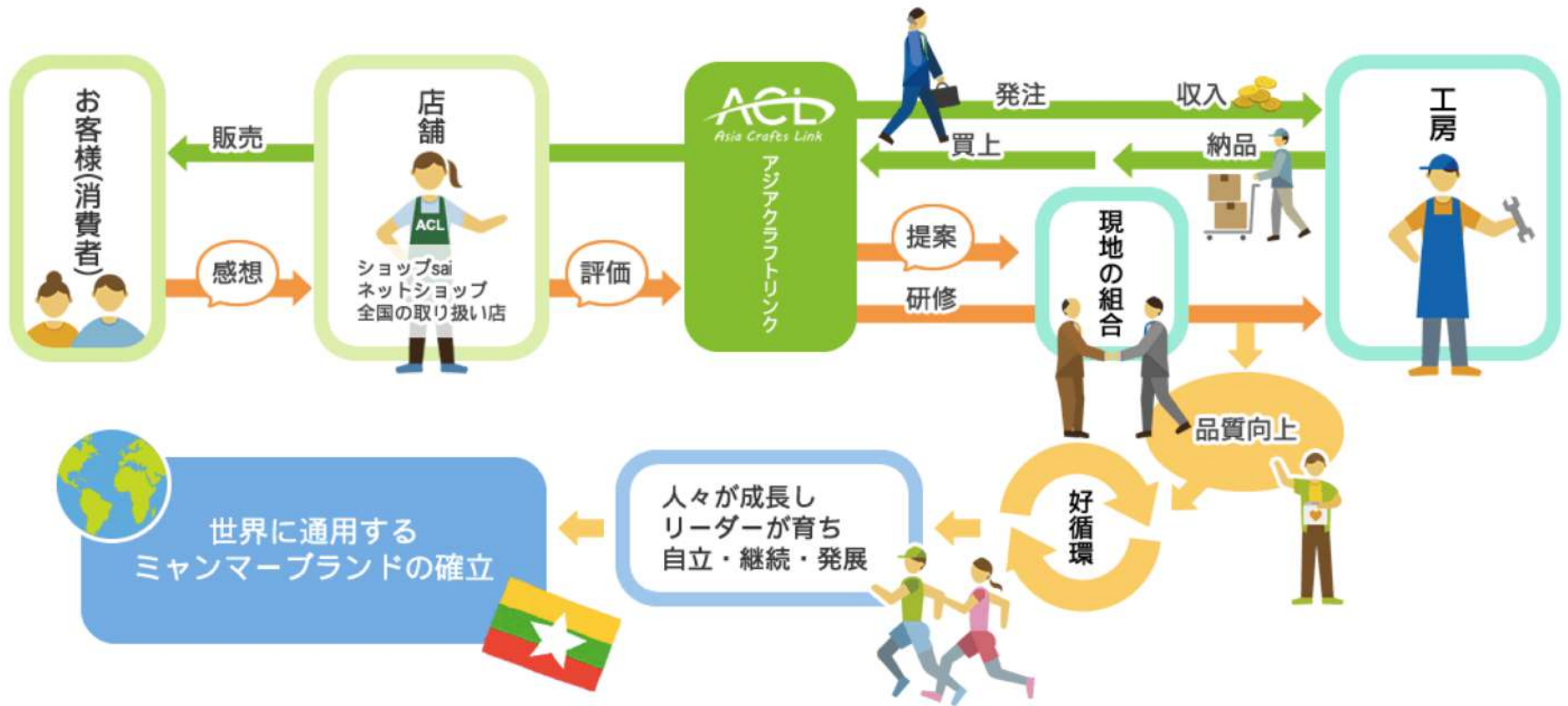
一村一品マーケット（関西国際空港）



直営店「フェアトレードショップ S a i」

- 東京国際ギフトショーで紹介
- 一村一品マーケット
- 新潟市の北方文化博物館でショップ運営
- ネット通販（アマゾン、カラーミー）

販売活動と途上国のメリット



事業背景：団体が抱える課題

活動の現地移管など高度化のフェーズ

- 組織基盤の安定、強化
- 事業収益、会費・寄付金の増加

しかしながら、

- 広報ファンドレイジング担当がない
- 人的キャパシティが不足

そこで、

- 新潟本部に広報担当を配置
- 支援者の拡大と動員を目的とした活動の実施
- 活動の発信による循環



「組織体制の安定化に向けた広報活動の強化 および支援者拡大事業」

＜目標＞ 広報・ファンドレイジング担当を配置し、支援者および会員の動員に有用な広報イベントパッケージを開発、活用することで、支援者が拡大する

＜期間＞ 2019年3月1日 ～ 2020年3月31日 ＜支援予算＞ 1,436,910円

【活動1】担当配置

- セミナー受講
- ネットワーキング

指標ア：担当人員数

指標イ：広報計画

【活動2】広報ツール

- ツールパッケージ制作
- 活動紹介動画

【活動3】支援者動員イベント

- 販売会
- スタディツアー

指標ア：広報ツールの有無

指標イ：ツール活用件数

指標ウ：イベント実施件数
来店者数、売上

【活動4】発信

- ウェブサイト、ブログ、SNS
- ニュースレター

指標ア：会員数

指標イ：発信件数

活動 1 : 担当配置



広報セミナー受講



にいがたFTネットワーク

- 団体内部人材を広報担当として配置、広報・販促関連セミナー受講
 - 関連団体や店舗によるにいがたFTネットワークに立ち上げから参画
 - 中間支援団体等との連携を強化
- **広報ツール制作への外部協力、販売会の出店機会増**

活動 2 : 広報ツール



スタディツアーで撮影した素材を使用したポスター

- 販売会と連動し広報ツールパッケージを試作、制作
- 委託販売時の貸出を想定して制作
- 支援者（消費者）と生産者の繋がりを意識



タバストリー



広報ツールパッケージ準備

活動 2 : 広報ツール (動画)

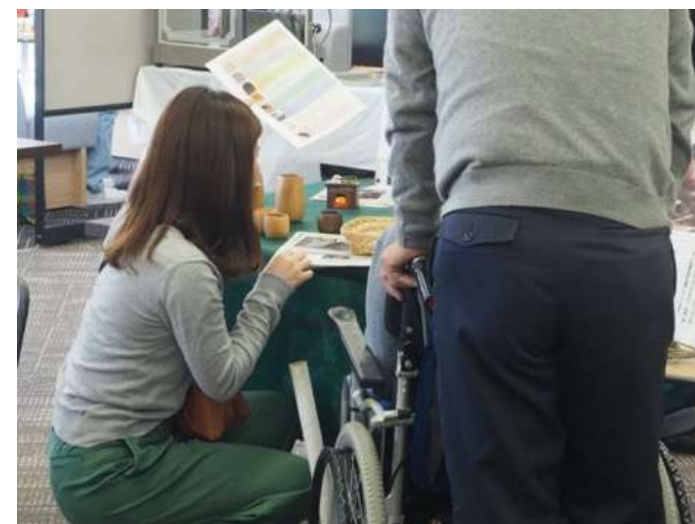


- にいがたフェアトレード推進委員会が制作協力
- 当会活動の意義・目的、現地住民の声を伝える

活動2：広報ツール（活用）



動画試写を行ったフェアトレード講座（2019年10月）



ツールを使用する委託販売者（2019年10月）



動画を使用した大学での講義（2020年1月）

- 支援者による委託販売、当会販売会で活用
 - スタディツアーの募集や講演会での団体紹介
- **多方面で団体理解を高める効果**

活動3：販売会



支援者による万代アースフェスタ出店（2019年5月）



当会販売会での他団体協力（2019年5月）



にいがたフェアトレードフェスティバル出店（2019年11月）

- 支援者による販売会5件、当会販売会10件
 - 出店ボランティア募集
 - 会員加入呼びかけ
- 合計で来店者数9,400名、売上114万円

活動3：スタディツアー



スタディツアー（2020年2月）

「ミャンマー地方の町で名産品づくりを知るツアー」

- 2020年2月21日～26日（4泊6日）
 - 生産者訪問、木工体験、学校訪問
- 学生2名、社会人1名が参加



活動4：発信

ツアー参加者の声

(小川園野 さん 大学4年生)

次に、ミャンマーの現地の方々から暮らしや文化について、私の要望に合わせてくださり、柔軟にスケジュールを組んでくださったことはとても感謝です。ロンジーを着させてもらったり、現地の人のようにバナナをぬらしてもらったり、カールワードにチャレンジしたり、とても満足いくものとなりました。托鉢を見させていだいて、目であり見たことがない光景が新でした。お坊さんが大切にされ、敬ばれているのだと思いました。長年ミャンマーで暮らしている日本人のスタッフさんや、日本語が堪能なミャンマーの方々の助けなしで体験できなかったことだと思います。ミャンマーならではの文化を知ることができ、とても勉強になりました。ありがとうございました。

き、技術支援の本当の意味を知ることができたと思います。

工房では家の横にじこじまりとした工房でそれぞれの職人が作業をしている姿を見ることができたのは貴重な体験でした。途中で停電もあり作業が思うように進まないという現地ならではの課題も見学することができました。

今回初めての仏教徒の占める割合が高い国に視察し、とても新鮮でした。巨大な仏所に裸足で入り込むたくさんの人々はとても印象的で、不思議と心が落ち着くような気がして心地よかったです。ミャンマーの人々はとてもやさしく笑顔が素敵な人ばかりでした。今回のスタディツアーは自分が勉強したい領域になり、今後の学習に活かしていきたいです。参加者を始め企画してくださったアジアクラフトリンクの皆さんありがとうございました。



発ストーリー> 唐木の手削り箸



管理コスト

2

もかきます。そこで私たちは、バゴの人々が必要な規模で乾燥が行える技術の開発に取り組みできました。そして今、その成果が大きく出はじめています。マゼイン地区のNwae Co Sheinさんの工房では、開発された小規模な乾燥システムを導入。材料の段階で徹底的に乾燥させてから加工し、これまでにない組足の、「曲がらない箸」が誕生しています。ぜひ一度、その感触をお試し下さい！

◎ 活動に協力をお願いします！

一緒に活動してくださる会員や賛助してくださる方を募集中です。入会費はこちら <https://www.acl.or.jp/about/join>

<年費>
【個人】2,000円 【法人】10,000円

◎ 会費・ご寄附の受付について

<銀行振込> ゆうちょ銀行
059支店(当座) 0062816
<振替口座> 00580-7-62816
特定非営利活動法人アジアクラフトリンク
当会は「認定NPO法人」取得を目指して、寄附金の増進に努めています。

<発行>アジアクラフトリンク

〒950-0205 新潟市江南区沢湯2-16
Tel: 025-282-7440
Fax: 025-282-7441
Mail: info@acl.or.jp
URL: <https://www.acl.or.jp>

日々の活動報告は、Facebook、インスタ、アメブロで発信中！

紹介するトークショーや、ミャンマーの少数民族文化の記録映画「ナガのドラマ」も上映し、たいへん好評頂きました。ご来場くださった皆さま、ありがとうございました。



特定非営利活動法人 アジアクラフトリンク

2020年3月

Asia Crafts Link

ニュースレター

バゴを案内、スタディツアー！

2月、一般財団法人日本国際協力システム、にいがたNGOネットワークのサポートを受け、3名の参加者の皆さんとミャンマーのバゴ市、ヤンゴン市を訪問する4泊6日のスタディツアーを開催しました。



到着翌日、最初にスタッフ紹介と活動説明をしたあとは、バゴを縦横無尽に動いてもらい、木工工房を5軒訪問。「この仕事を始めたのはいつですか?」「何人が動いていますか?」など質問しながら、バゴの木工産業を知って頂きました。1軒の工房にお願いしてスプーンづくり体験の予定でしたが、他の工房の温かいお誘いで、急遽、フライ返しづくりにも挑戦しました。

かつて王朝が置かれたバゴでは、伝統工芸が人々の日常に溶け込んでいます。関連工房のスタッフさんと一緒に、地元の方々の足トウ

クックで、仏教史跡やマーケットを巡りました。最初は驚いたトックトックの揺れも、筋肉痛とともに良い思い出になったのでしょうか?

バゴでの最終日は、車で30分かけて、私たちと一緒に植林活動を進めるレイエスー学校を訪問。小学生のみんながキラキラと目を輝かせながら待っていました!参加者からの質問タイムでは、「好きな科目はなんですか?」には「英語!」「化学!」、「大きくなったら何になりたいですか?」には「先生!」「お医者さん!」と一人ずつ立ち、大きな声で発表してくれました。ヤンゴンへ移動したあとは、環状線の乗車体験など、ローカル生活を1日かけて味わってから日本への帰途となりました。参加者の皆さん、受入協力してくださった皆さん、旅行社ピース・イン・ツアーさん、ありがとうございました!

ミャンマー発信イベント

1月、JICA東京(新潟デスク)さんと共催で「国際協力トークショー&ミャンマー映画上映会〜東南アジア文化に触れる1日〜」を開催しました。スタディツアーの事前説明会とともに、国際協力への関わり方を

<あなたのお店で使ってみませんか?> ポスターができました!
工房訪問で撮影した写真を使用して、木工品や織物の生産シーンとともに、ミャンマーのしごと品の背景にあるストーリーを紹介できるポスターを制作しました。
ご要望のお客様には、次回ご注文時に商品と一緒に無料でお届けします。A3サイズで6種類、数に限りがありますので、お早めにご連絡ください!



SNSの投稿 (2020年3月)

ニュースレター (2020年3月)

- 2019年9月、2020年3月にニュースレター
- 団体ウェブサイト・ブログ・SNS、外部サイトで告知、報告、PR
- 講演会、セミナー、大学講義で登壇4件

事業の成果

【活動1】担当配置

- 担当人員：0→1名0.5人役
- 広報計画：現状分析の反映

【活動2】広報ツール

- 広報ツールパッケージ：完成
- 活用実績：6件（目標4件）

【活動3】支援者動員イベント

- 支援者による販売会：5件（目標1件）
- 来店者数：1,215名（目標200名）
- 売上：151,470円（目標5万円）
- ツアー参加者：3名（目標7名）

反省点：初めての一般募集であるのに、日程調整に時間をかけすぎ募集期間が短くなってしまった

【活動4】発信

- 会員数：26→42名（目標40名）
※本事業活動に由来する新規会員10名
- ニュースレター：2件（目標2件）

<成果> 本事業により、新会員の獲得、新潟県内団体との新たな連携、新たな購入者層へのアプローチが達成でき、計画していた事業目標を達成できた。

成果の広がり

生産者への還元

- スタディーツアーを通じて、消費者が現地の状況を知るだけでなく、木工品生産者らの経験とモチベーションの向上に繋がった。
- 販売会を通じて、当会活動に対する理解者が増えることで、ファン層や協力者の醸成に繋がり、継続的な生産者支援に寄与することができた。



ツアー参加者に木工品づくりを指導する生産者（2020年2月）

地方の国際協力団体として

- 本事業の活動を通じて、新潟の市民、学生に対する国際協力理解の機会づくりや、彼らの活動に題材を提供することができた。



当会活動を題材にフェアトレードイベントの打合せを行う学生（2019年4月） 21

事業後の新たな展開

オンラインでの広報、支援者獲得

- ウェブサイトを改修、本事業で制作した動画をトップページに掲載
- 同動画をメインにYoutubeチャンネルを整備、今後充実
- カード決済による寄付受付をウェブサイトに設置



事業後の新たな展開

外部団体との協力の継続、発展

- スタディツアー実績を見た関西の学生団体から長期協力打診
- 新潟国際情報大学の学祭での委託販売継続 (→ 中止)
- ユネスコスクール講演依頼 (→ 中止)、旅行社との広報協力
- 本事業のイベント参加者からインターン人材を獲得、広報業務に



#FTSNフェアトレードビジネスアイデアコンペティション

しかしながら、

ここまでの販売イベントは、新型コロナウイルスの影響によりすべて中止

そこで、

ネット通販の強化が必要

- 新規出店
- 既存ショップの強化

このたびのご支援とすばらしい機会の提供に
改めて感謝申し上げます。

特定非営利活動法人アジアクラフトリンク

新潟市江南区沢海2-16

info@acl.or.jp

<https://www.acl.or.jp/>